

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区堺町1丁目1-10

団体名 株式会社 北九州銀行

代表者 嘉藤 晃玉

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきがいしゃ きたきゅうしゅうぎんこう	
団体名	株式会社 北九州銀行	
(ふりがな)	かとう みつる	
代表者氏名	嘉藤 晃玉	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 堺町1丁目1-10
	主たる事業所	
事業概要	銀行業	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	金融業、保険業	
従業員数（企業のみ）	301人以上	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.kitakyushubank.co.jp/	

連絡先



































担当部署	営業統括部
担当者	堀口 遥平
電話番号	082-258-7036
メールアドレス	youhei_horiguchi@kitakyushubank.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

企業名 株式会社北九州銀行

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット	具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組		
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動の情報開示フレームワークを推進するTGF指書に賛同しており、気候変動への対応を強化するとともに、TGF指書に基づく情報開示を積極的に進める。 ・毎年5月1日から9月30日までの期間に全社員がクールビズを実施し、室内温度の目安を28℃とする。原則として、男性はノーネクタイ・上着なし、女性はジャケットなしにて業務を行う。 ・本店建物および支店において、LED照明を設置。今後、他支店においても順次LED照明の設置を進めていく。 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> ・契約手続きの電子化およびワークフローシステムの導入等により、業務のペーパーレス化を図っている。 ・備品および雑品等(机、事務用品等)の有効活用を図るため、不要となった物品を社内へ譲渡する社内リユースサイトを開設し、備品および雑品等の再利用促進・廃棄物削減を図る。 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(2)ウ
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }					<ul style="list-style-type: none"> ・グループに地域商社やクラウドファンディングの事業会社を有しており、地場産品のPRに努める。また、社員へ取引先調査の研修を実施。 ・「地域共済店舗」として、地域企業とのコラボレーション店舗を展開。地域のにぎわい創出として、非金銭および金銭に関するイベントを開催。 ・「環境・社会に配慮した投資方針」を定め、取引先のSDGs/ESGに関する取組状況の把握に努め、取引先の持続可能性向上を支援する。 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	社会(1)⑥
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業へのチャレンジを通じて「創造性豊かな社員の育成」と「新たな価値を創造し続ける組織風土を醸成すること」を目的に、全員参加型プログラムを実施。地域の金融グループとして地域に貢献する新規事業開発を目指す。 ・「ワイフューチャー・デザイン」に関する取組方針を策定・公表し、お客さま本位に資する商品やサービスの充実・向上に取り組む。 ・社員より、事務・コスト削減およびより良いサービスの提供に資する業務改善提案を募集。すぐれた改善提案については社内表彰を実施。 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	経済(2)ア
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> ・スマホポータルアプリにて、通帳レス口座への切替推進や来店不要にて行える手続きを拡充。 ・双方向生時に被災者が通帳・印鑑・キャッシュカード等を紛失した場合でも、ATM利用や本人確認ができるよう指図証書サービスを取扱い。 ・LGBTに対応した住宅ローンの取扱い。 ・お客さまの目的に応じた私事債(寄付型、BOP策定支援サービス付、SDGs経営立ち上げ支援サービス付)の取扱い。 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	社会(2)ア
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }					<ul style="list-style-type: none"> ・フレックスタイム制の導入(2022年3月末時点利用率90.6%)し、柔軟な勤務体制を実施。 ・新型コロナウイルスの感染防止の観点からテレワークが可能な業務が実行できる環境を整備。 ・社員の健康を把握し組織風土や職場環境を改善することを目的に「社員意識調査」を実施。改善策を含めた調査結果を社員へ還元・開示(2021年12月実施時間回答率53%)。 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	社会(1)④
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }					<ul style="list-style-type: none"> ・中途採用、女性社員のキャリア開発等を積極的に実施。多様な人材(女性・外国人・中途採用者・アルムナイ・副業従事者・外部出身経験者)管理職の割合を2025年3月末までに12%以上とする。 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	社会(1)②
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }					<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント等のコンプライアンスに関することをテーマに、月1回各職場にてコンプライアンス会議を実施し、ハラスメントを防止する意識を強化。 ・職場等でのコンプライアンス違反を通報できる「内部通報制度」、社員がハラスメント等の悩みや問題を幅広く相談、質問できる窓口「コンプラなんでも相談窓口」を設置。 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会(1)イ
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> ・全社員に年1回の定期健康診断、節目年齢には人間ドックを実施。 ・健康保険組合を通じて、ウォーキングや家庭を推奨するためのイベントを実施。 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	社会(3)①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ層の外部への発信やインターシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> ・業務別・階層別に様々な研修プログラムを提供。e-ラーニング教材を充実させ、自由に研修を受講できる機会を提供。 ・資格取得者には奨励金を給付し、特に困難資格取得者は社内表彰を行うことで社員の自己啓発への意欲を高めている。 ・上司と部下間の対話の機会を設けることと目的とした1on1ミーティングを実施。通常の面談時間と異なり、部下が主体となり「業務上の課題」「キャリア形成」「スキルアップ」等をテーマに相談。実施率100%を目標とする。 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	社会(4)イ
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・社会的責任と公共的使命感の重要性を十分認識し、健全な業務運営の遂行を確保するため、「反社会的勢力への対応に係る基本方針」に基づき、反社会的勢力との一切の関係遮断に向けた取組を従業員および社外に周知。 ・贈収賄防止のために必要な具体的な取組を進めるべく、ビジネスパートナーの管理に準じたさまざまな事項をまとめた「贈収賄防止に関するガイドライン」を策定。「コンプライアンス・情報管理ハンドブック」を社員に配布し、遵守しなければならないルール等の周知徹底を図る。 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)③
12	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設け、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> ・「サステナビリティ推進委員会」を設置し、経営陣が先導してサステナビリティ経営を実施。「気候変動」「ダイバーシティ&インクルージョン」を重要テーマとしたワーキンググループを設置。 ・グループの「使命・存在意義(パーパス)」・「将来のあるべき姿(ビジョン)」を策定し、事業活動等を通じて、グループ一体で地域の発展と未来づくりに邁進する。 ・「パーパス」 ・地域の豊かな未来を共創する【ビジョン】 ・地域に選ばれ、地域の豊かさに応える、地域価値向上企業グループ 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール11	社会(4)ア

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDG s 達成に向けた宣言書

宣言日 令和4年6月6日

団体名 株式会社北九州銀行

私たちは、SDG s の内容を理解し、SDG s の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDG s 達成に向けた取組方針等

弊行グループのサステナビリティ方針「私たちは、地域の皆さまと共に歩み、共に成長するため、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。」に基づき、北九州市のSDGs普及を目的とした活動を積極的に実践していく。

◆ SDG s 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDG s 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDG s 未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	サステナブルファイナンス (うち環境分野・気候変動対応に資するもの)	指標 (KPI)	実行額	指標
社会	○		目標値		経済 (1) ①
環境	○		その他 (その他の場合) ()年 2022年4月~2025年3月 (3年間) 650億円以上 (100億円以上) 2022年4月~2032年3月 (10年間) 2,500億円以上 (500億円以上)		具体的な取組
経済		多様性人財 (女性・外国人・中途採用者・アルムナイ・副業従事者・外部出向経験者) の活躍推進	指標 (KPI)	多様性人財 管理職割合	指標
社会	○		目標値		社会 (1) ③
環境			その他 (その他の場合) ()年 弊行グループ全体の割合 2025年3月末: 12%以上 2031年12月末: 25%以上		具体的な取組
経済	○	北九州市のふるさと納税への貢献	指標 (KPI)	返品品提供事業者の 紹介件数	指標
社会	○		目標値		経済 (3) ①
環境			2023年 (その他の場合) ()年	年3社以上	具体的な取組

記載について

- ・ 「SDG s 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野 (経済・社会・環境) の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 株式会社 北九州銀行

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
7 北九州イクボス同盟	設立時より北九州イクボス同盟に加盟。「北九州イクボス同盟業界研究会」に企業ブースを開設し、就職活動を控えている学生、求職中の方を対象にイクボスを周知するイベントに参画。
9 北九州マラソン事業 (ボランティア活動)	例年、大会前日のランナー受付として、ボランティア約30名を派遣。
99 その他(市と連携した取組み)	コロナ禍での飲食店や火災での旦過市場等、有事の際に北九州市と連携し、クラウドファンディングによる支援プロジェクトを実施。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。